

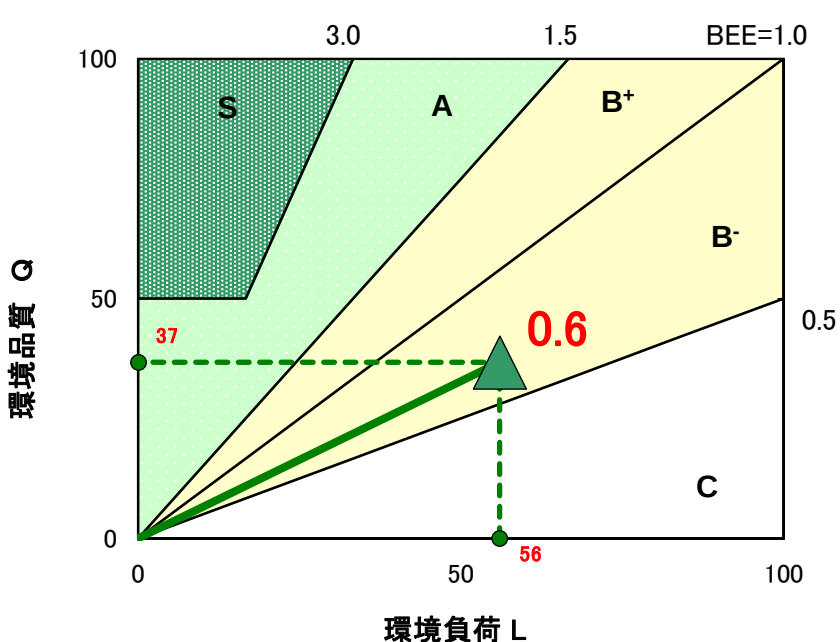
CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	株式会社くまもと製材ダラ挽き工場	階数	地上1階	 外観図の貼り付けは、 【外観図】シートへ貼り付けしてください。
建設地	熊本県球磨郡あさぎり町深田東字馬	構造	S造	
用途地域等	都計外(準都計外)	平均居住人員	15 人	
省エネ:地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年	
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2025年9月 予定	評価の実施日	2025年2月6日	
敷地面積	91,035 m ²	作成者	株式会社 桜樹会・古川建築事務所	
建築面積	2,330 m ²	確認日	2025年2月6日	
延床面積	2,323 m ²	確認者	株式会社 桜樹会・古川建築事務所	

2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)





■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

排出率

#DIV/0!

BEE = 0.6

■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

3 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価



評価点

61

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	55.0
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	58.7
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	70.0
【重点事項4】 循環型社会の実現	67.5

■熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

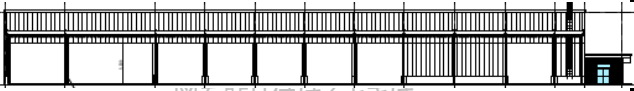
Page : 1/6

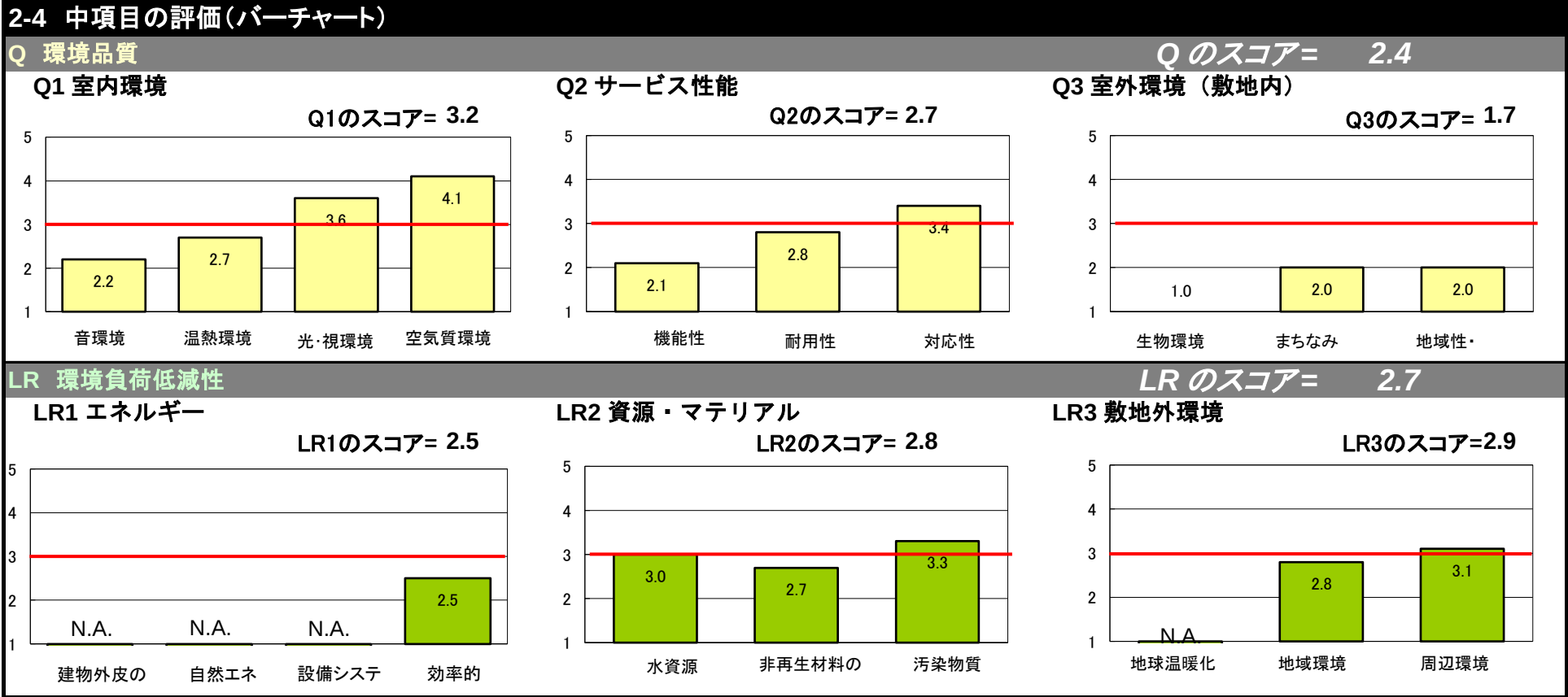
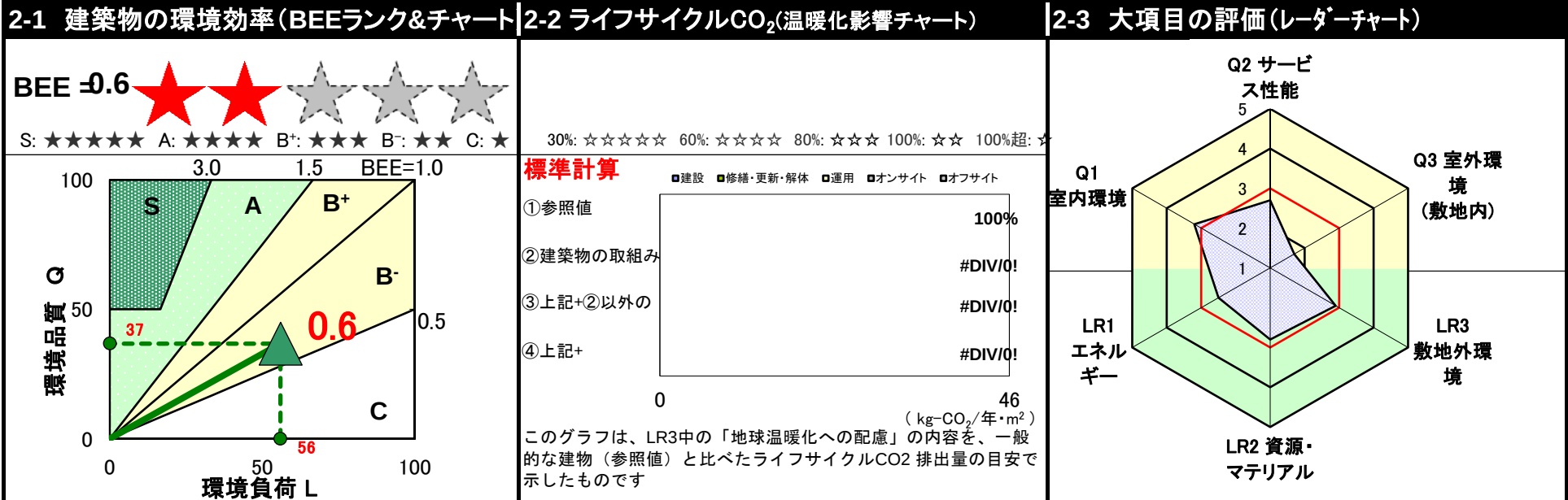
Sheet : 1/5

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	株式会社くまもと製材ダラ挽き工場	階数	地上1階	 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください	
建設地	熊本県球磨郡あさぎり町深田東字馬場	構造	S造		
用途地域等	都計外(準都計外)	平均居住人員	15 人		
省エネ:地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工時期	2025年9月 予定	評価の実施日	2025年2月6日		
敷地面積	91,035 m ²	作成者	株式会社 桜樹会・古川建築事務所		
建築面積	2,330 m ²	確認日	2025年2月6日		
延床面積	2,323 m ²	確認者	株式会社 桜樹会・古川建築事務所		



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社くまもと製材ダラ挽き工場

評価点が3超の項目 水色セル欄に数値やコメントを記入

⇒Q1～Q3シートやLR1～LR3シートにおける採点の根拠に倣って、要旨を記入してください

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.4
Q1 室内環境					0.30	-	-	3.2
1 音環境				2.2	0.15	-	-	2.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音				2.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能				1.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-	
2 温熱環境				2.7	0.35	-	-	2.7
2.1 室温制御				2.5	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能				1.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				3.6	0.25	-	-	3.6
3.1 昼光利用				4.2	0.30	-	-	
1 昼光率		昼光率:3.84%		5.0	0.60	-	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		ブラインド+庇の設置		4.0	1.00	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				4.1	0.25	-	-	4.1
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材の採用		4.0	1.00	-	-	
4.2 換気				3.6	0.30	-	-	
1 換気量				3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		0.100≧0.067(1/15)		5.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		建物全体禁煙(健康増進法(受動喫煙対策))		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.7
1 機能性				2.1	0.40	-	-	2.1
1.1 機能性・使いやすさ				1.6	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				1.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		天井高さ:2.7m		4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33	-	-	
3 内装計画				1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	【壁長さ比率】0.09<0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		対象外	-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: -	-	-	-	-	-
4 効率的運用			2.5	1.00	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		軽量鉄骨下地+PB	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	グラスウール断熱材	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			2.8	0.50	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止		煤煙発生施設なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.50	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリストの一部を満たす、広告物照明なし	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

熊本県重点評価結果 スコアシート ※手動入力は不要		実施設計段階
建物名称	株式会社くもと製材ダラ挽き工場	

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		61
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				55	0.40	22.00
Q1-2.1.2	外皮性能	1.0	0.20			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.20			
Q1-3.2.1	昼光制御	4.0	0.20			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	0.0	0.00			
LR1-2	自然エネルギー利用	0.0	0.00			
LR1-3	設備システムの高効率化	0.0	0.00			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.20			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	1.0	0.20			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				58.7	0.20	11.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				70	0.20	14.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				67.5	0.20	13.50
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.6	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

■ 環境関連の配慮事項

株式会社くもと製材ダラ挽き工場

印刷:モノクロ
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	敷地は山間部の小山の中に位置する。周辺の道路、民家からは離れて見えない。景観に与える影響は極めて少ない	
Q1 室内環境	作業効率を高めるように機械を配置した	
Q2 サービス性能	機械の更新にも対応可能となる余裕ある広さを確保した	
Q3 室外環境 (敷地内)	敷地の内周には多くの緑地を配している	
LR1 エネルギー	休憩室の窓ガラスは複層ガラスとした。工場の屋根は断熱材入りダブル折板葺き	
LR2 資源・マテリアル	断熱材はすべてノンフロン。	
LR3 敷地外環境	道路からの進入口は2か所設けている。交通状況により対応可能	
その他	特になし	